



Be the **Right ONE**

豊田通商グループ成長戦略

2019年9月25日
豊田通商株式会社
(証券コード 8015)

目次

I 豊田通商について

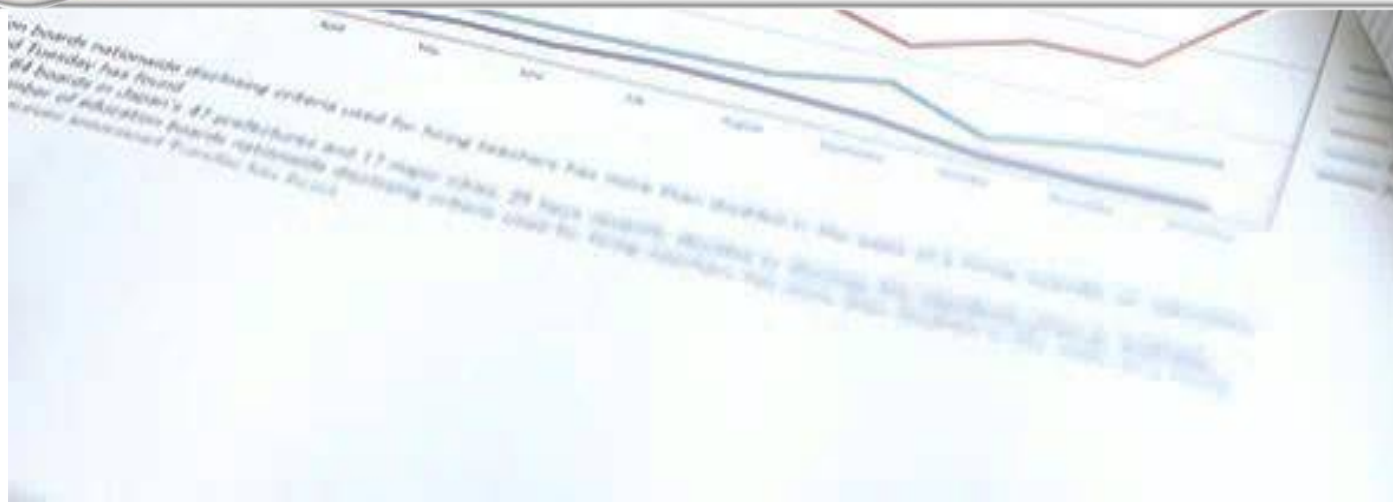
II 中期経営計画と重点分野

III 投資銘柄としての3つのポイント

IV 補足



I 豊田通商について



会社名 : 豊田通商株式会社
証券コード : 8015 (東証・名証一部上場)
業態 : 総合商社
設立 : 1948年7月1日
代表者 : 貸谷 伊知郎 (2018年4月に社長就任)
資本金 : 649億3千6百万円
主要株主 : トヨタ自動車(21.69%) を筆頭にトヨタグループで約35%
従業員数 : 連結 58,565名

主要連結財務数値 (19/3期)

当期利益

1,326億円

ネットDER

0.82倍

連結子会社数

国内 **118**社

海外 **619**社

格付

自己資本

1兆1,958億円

自己資本比率

26.9%

S&P

A+

Moody's

A3

R&I

A+

トヨタグループ^o17社中、唯一の商社

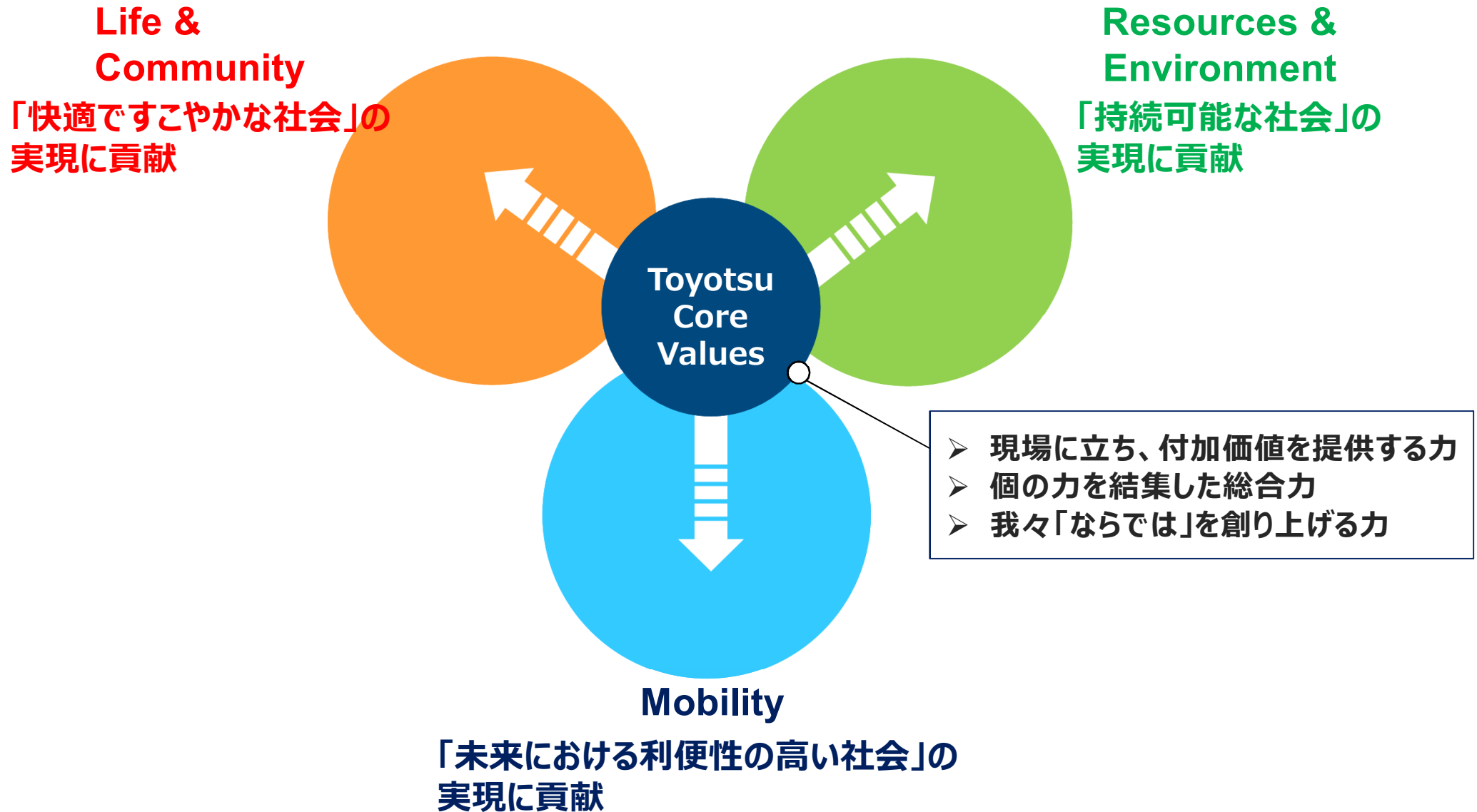
- **グループ各社の課題解決、開発技術をお客様のニーズに繋げビジネスに結実**
- **アライアンスを進め、他メーカーへの展開も加速**



現場に立て。
明日に役立て。

加工工場を保有し、物流機能にとどまらない付加価値を提供
豊田通商グループウェイ：“現地・現物・現実”
“商魂” “チームパワー”

「Global Vision」 事業領域の拡大を目指す



Toyotsu Core Valuesを核に、3つの事業分野で成長拡大



当社事業の紹介映像をご覧ください



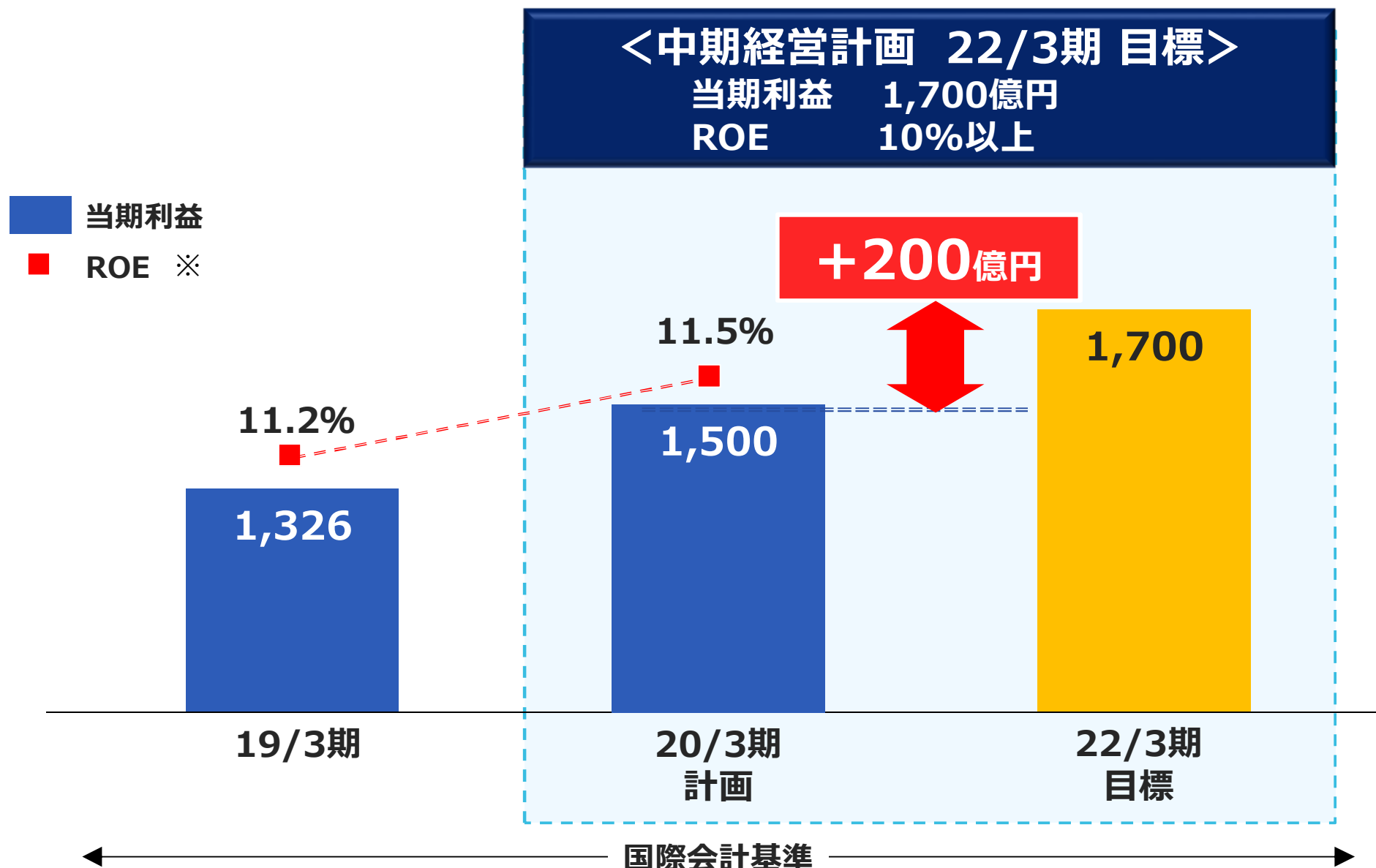


Ⅱ

中期経営計画と重点分野

中期経営計画

(単位：億円)



※ ROE (自己資本利益率) = 当期利益 ÷ 自己資本

中期経営計画達成に向けて

3つの重点分野へ注力

～『当社の強み』×『今後の伸びが予想される領域』～

1. アフリカ



アフリカでのプレゼンス
展開国 : 全54ヶ国
従業員数 : 約15,500人



最後のフロンティア
高い成長ポテンシャルを持つ

2. 次世代自動車



日本最大の
電子デバイス商社グループ



100年に一度と言われる
自動車産業の転換期

3. 再生可能エネルギー



風力発電業界の
リーディングカンパニー



クリーンエネルギー需要
の高まり

中期経営計画達成に向けて

3つの重点分野へ注力

～『当社の強み』×『今後の伸びが予想される領域』～

1. アフリカ



アフリカでのプレゼンス

展開国 : 全54ヶ国

従業員数 : 約15,500人



最後のフロンティア
高い成長ポテンシャルを持つ

「アフリカ戦略」については、
後ほど別紙資料を用いてご説明

2. 次世代自動車

日本最大の
電子デバイス商社グループ



100年に一度と言われる
自動車産業の転換期

3. 再生可能エネルギー



風力発電業界の
リーディングカンパニー



クリーンエネルギー需要
の高まり

中期経営計画達成に向けて

3つの重点分野へ注力

～『当社の強み』×『今後の伸びが予想される領域』～

1. アフリカ



アフリカでのプレゼンス
展開国 : 全54ヶ国
従業員数 : 約15,500人



最後のフロンティア
高い成長ポテンシャルを持つ

2. 次世代自動車



日本最大の
電子デバイス商社グループ



100年に一度と言われる
自動車産業の転換期

3. 再生可能エネルギー



風力発電業界の
リーディングカンパニー



クリーンエネルギー需要
の高まり

2. 次世代自動車 ～自動車市場の変化～

次世代自動車産業の示すキーワード『CASE』

Connected
(つながる化)

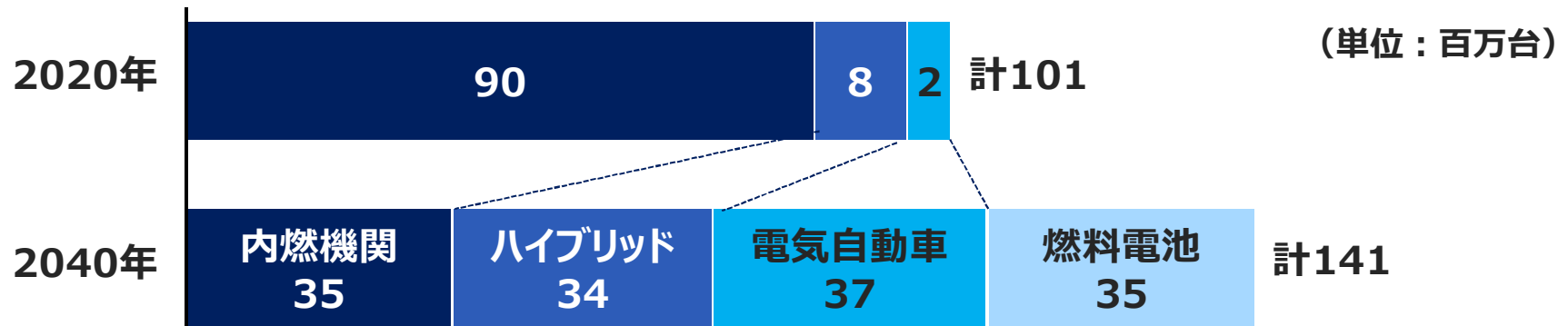
Autonomous
(自動運転)

Shared&Services
(シェアリング)

Electric
(電動化)

【自動車市場変化予測】

※LMC Automotiveのグローバル予測総生産台数を元にKPMGが独自に作成



今後の活動領域

素材置換

次世代サービス

エネルギーマネジメント

2. 次世代自動車 ～今後の活動領域～

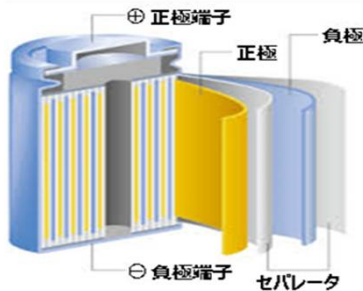
素材置換

～拡大する自動車の電動化需要～

➤ 軽量化対応/アルミ加工



➤ リチウムイオン電池需要増への対応



次世代自動車の普及に欠かせない
リチウム資源の安定供給に貢献

次世代サービス

～モビリティサービス領域の拡大～

➤ 基盤となるインフラの整備

Over The Air



ソフトウェア無線配信

➤ トラック隊列走行

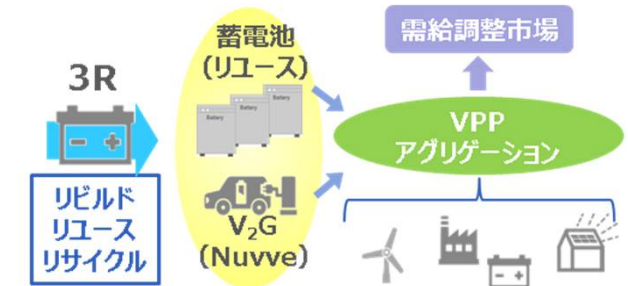


後続無人隊列走行
システムの実証実験開始

エネルギーマネジメント

～環境意識の高まり～

➤ 電池 3 R[※]と再生可能エネルギーの掛け合わせ



※ 3 R…リビルド、リユース、リサイクル

➤ V2G仮想発電所



愛知県豊田市で、電動車の蓄電池
を用いた充放電実証事業を実施

2. 次世代自動車 ～リチウム資源開発を推進～

アルゼンチンにおけるリチウム資源開発



2014年12月より炭酸リチウムの生産を開始
リチウム需要の増加を見据え、
年間生産能力 17,500tから 42,500tへ能力増強

**中長期的なリチウム安定供給を目指すとともに、
日本での水酸化リチウム生産事業も視野にいたバリューチェーン構築を目指す**

中期経営計画達成に向けて

3つの重点分野へ注力

～『当社の強み』×『今後の伸びが予想される領域』～

1. アフリカ



アフリカでのプレゼンス
展開国 : 全54ヶ国
従業員数 : 約15,500人



最後のフロンティア
高い成長ポテンシャルを持つ

2. 次世代自動車



日本最大の
電子デバイス商社グループ



100年に一度と言われる
自動車産業の転換期

3. 再生可能エネルギー

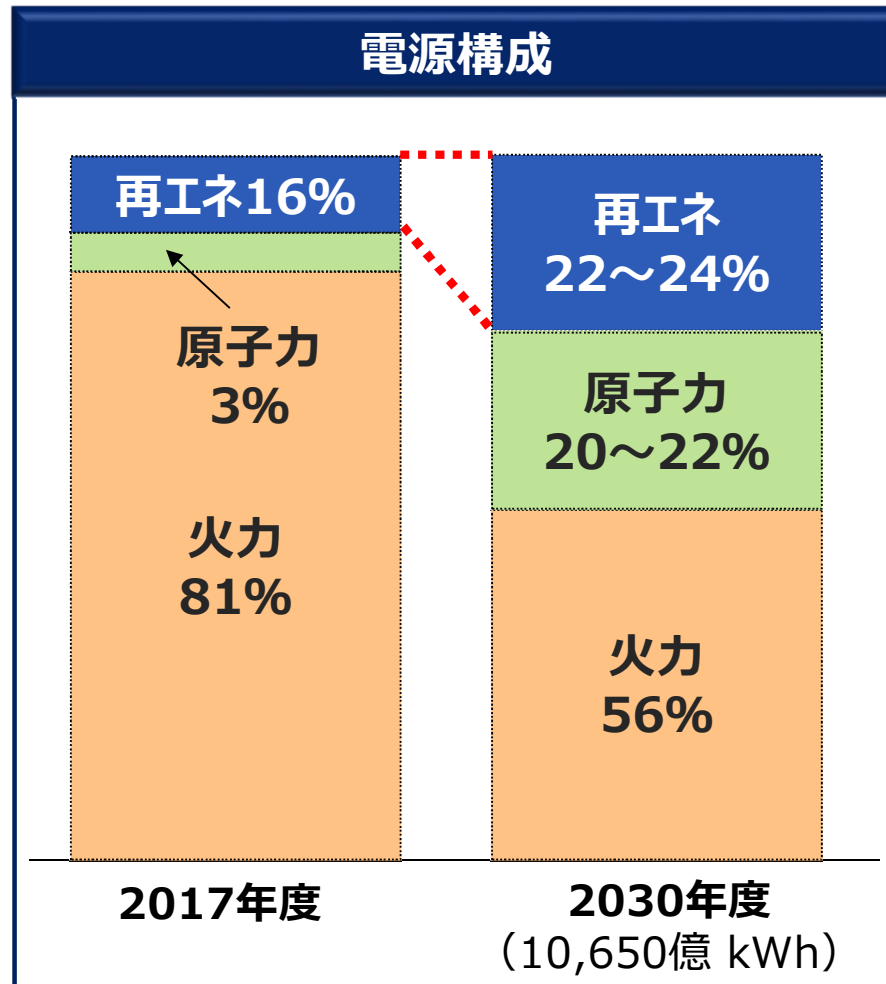


風力発電業界の
リーディングカンパニー



クリーンエネルギー需要
の高まり

3. 再生可能エネルギー ～日本の電源構成見通し～



再エネの構成

(単位：MW)	導入水準 (18年12月)	将来目標 (2030年度)	目標に 対する導入 進捗率
太陽光	48,700	64,000	約 76%
中小水力	9,700	10,900～ 11,700	約 86%
風力	3,700	10,000	約 37%
バイオ	3,800	6,020～ 7,280	約 58%
地熱	540	1,400～ 1,550	約 37%

※ 経済産業省 資源エネルギー庁よりデータ抜粋

風力発電は将来目標との差が大きく、今後も大きく成長する分野

3. 再生可能エネルギー ～国内での事業展開～

蓄電池を利用した発送電事業

発電容量：
約600MW

蓄電池併設

送電網整備エリア

電力設備

2022年完工予定

- () 風力発電エリア
- 送電線ルート
- 変電所・開閉所

- : 風力発電
- ☀ : 太陽光発電
- ★ : 建設中

ユーラスエナジー社(当社子会社)
国内No.1の再生可能エネルギー会社

日本の風力発電設備容量(3,700MW)の
約2割をユーラスがカバー

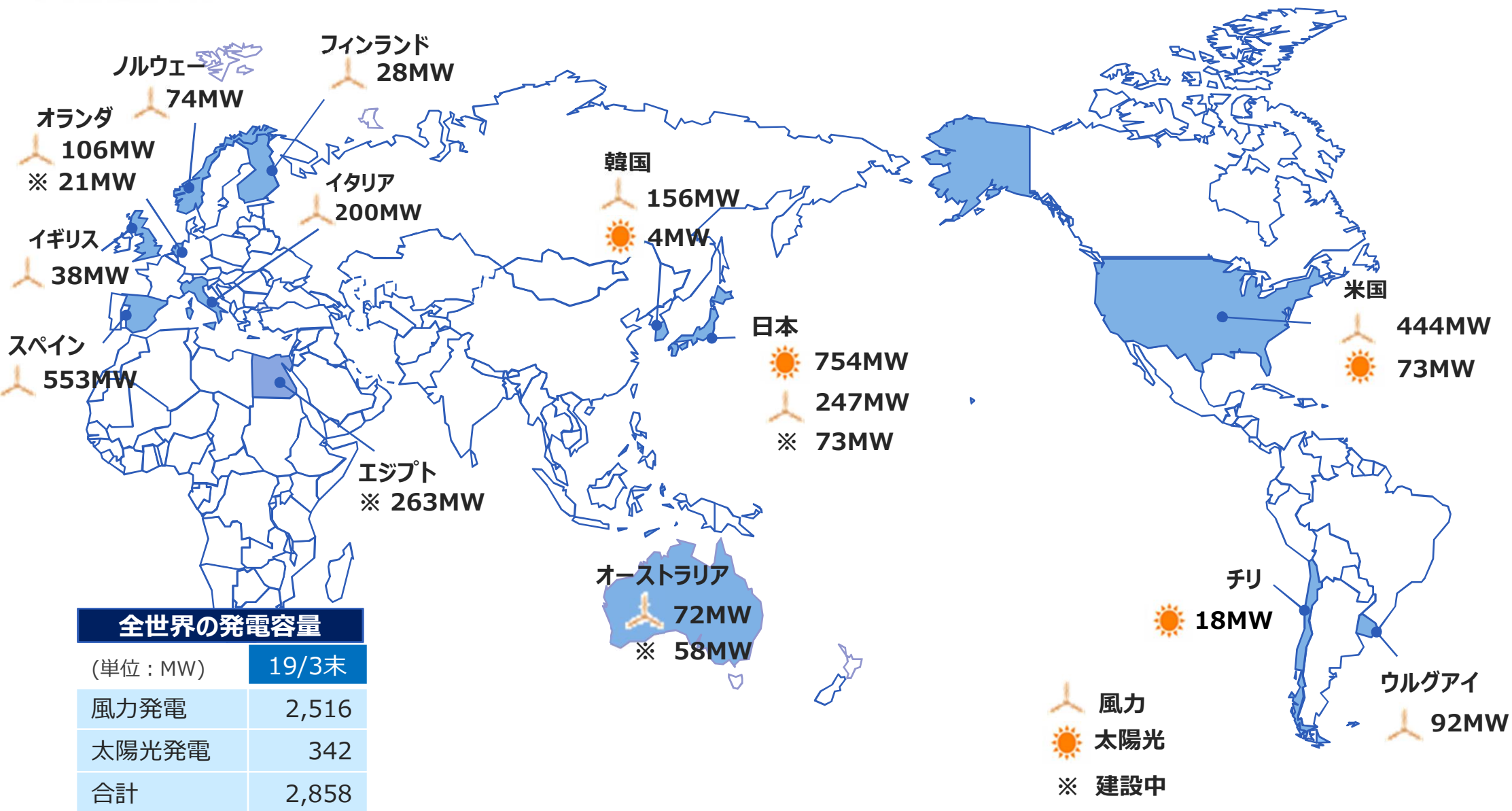
日本での発電設備容量

(単位 : MW)	19/3末
風力発電	754
太陽光発電	247
合計	1,001

**強みを持つ風力/太陽光発電だけでなく、
電源メニューの拡大や蓄電といった機能拡大を目指す**

3. 再生可能エネルギー ～発電事業の世界展開～

2019年3月末時点



日本のみならず世界各地におけるエネルギー供給に貢献

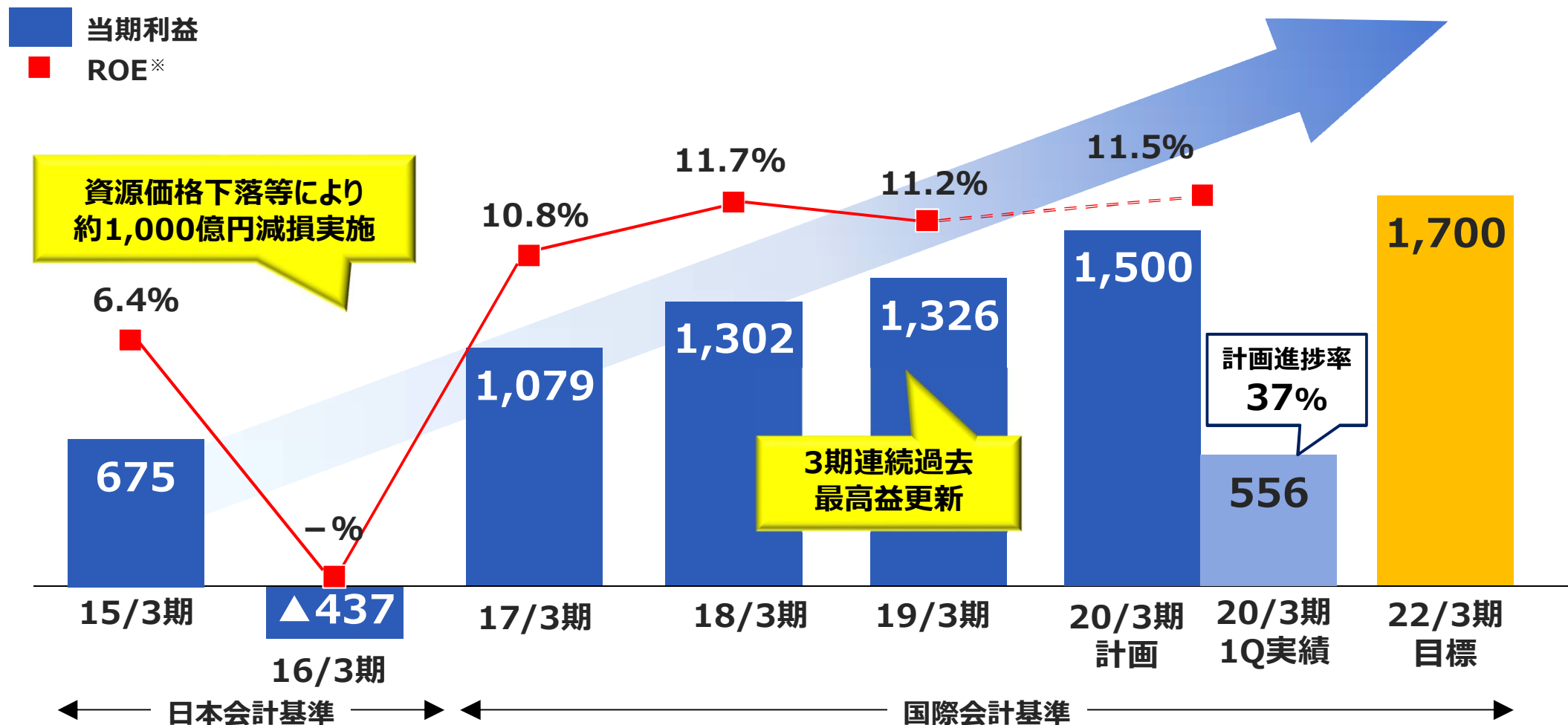


Ⅲ 投資銘柄としての3つのポイント

ポイント①収益の安定性

(単位：億円)

2016/3期に資源の減損があり初の赤字決算となったものの、
継続的な利益成長を実現、更なる成長を目指す

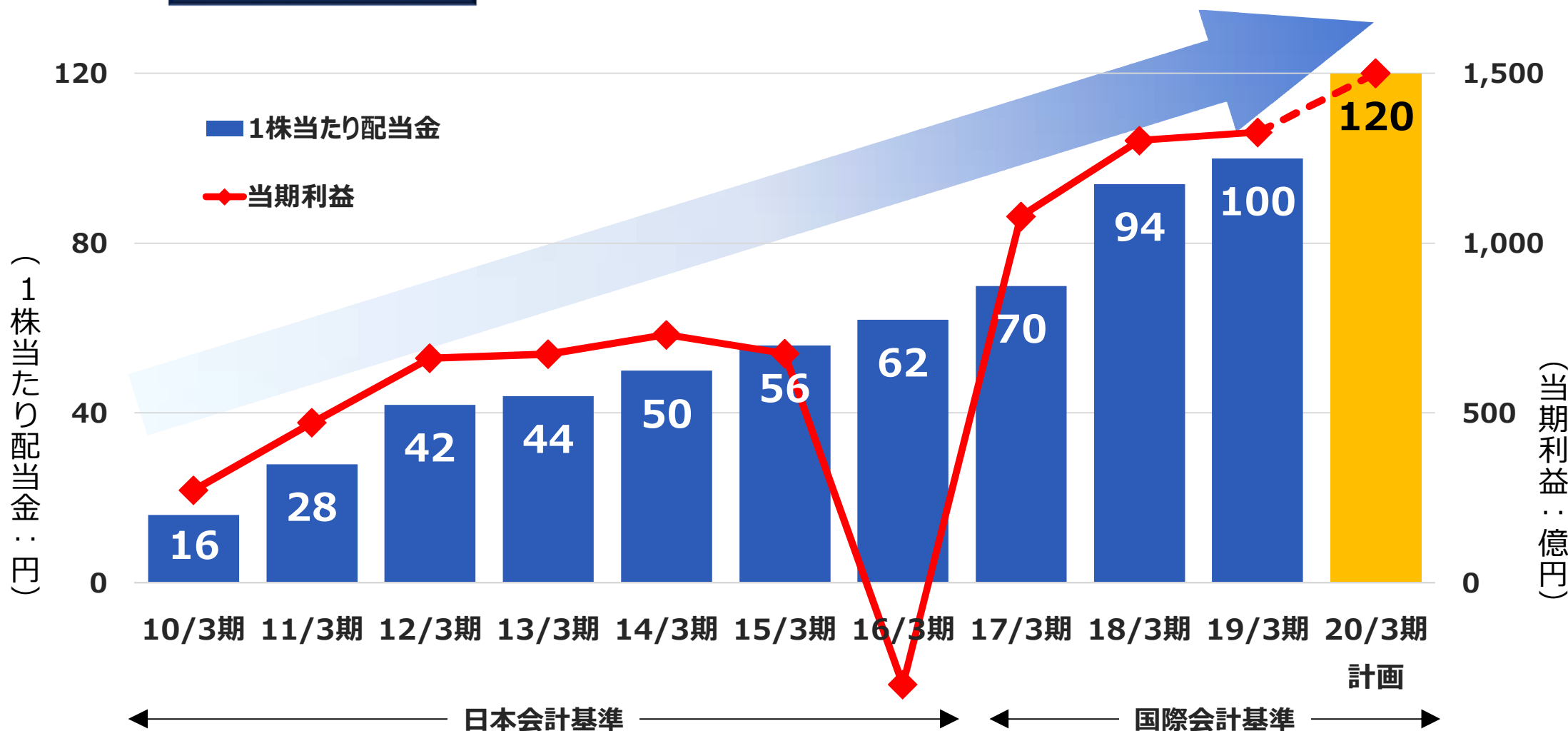


※ ROE (自己資本利益率) = 当期利益 ÷ 自己資本

ポイント② 安定的な増配 ～10期連続の増配を見込む～

株主還元 方針

- 連結配当性向25%以上を基本方針
- 安定的な配当増額に努める



ポイント③外部機関の評価

2019年8月末時点

健全な財務状況を裏付ける、格付機関からの高い評価

総合商社 業界	EPS ※ 2019年3末 実績	S&P Global Ratings	Moody's	R&I
豊田通商	376.9	① A+ (安定的)	② A3 (安定的)	④ A+ (安定的)
A社	372.4	② A (安定的)	① A2 (安定的)	① AA- (安定的)
B社	324.1	② A (安定的)	② A3 (安定的)	① AA- (安定的)
C社	238.3	② A (安定的)	② A3 (安定的)	① AA- (安定的)
D社	256.7	⑤ A- (安定的)	⑤ Baa1 (安定的)	④ A+ (安定的)
E社	130.7	⑥ BBB (ポジティブ)	⑥ Baa2 (安定的)	⑥ A (安定的)
F社	56.3	⑦ BBB- (ポジティブ)	—	⑦ BBB+ (安定的)

※ EPS(1株あたり利益)=当期利益÷発行済株式数

当社の強みまとめ

1 良質・強固な事業基盤

- ✓ トヨタグループの自動車バリューチェーン各所への深い関与による強固な営業基盤
- ✓ 自動車の販売・次世代自動車普及、生産効率・新素材・技術提供の観点よりグループ戦略における主要な1社

2 安定性（収益力・配当額）

- ✓ 自動車関連部門の収益が全体の約6割を占める安定的な収益力
- ✓ 継続的な株主還元

3 健全性（財務健全性・高格付）

- ✓ 健全な財務体質、リスク管理の徹底による格付機関からの高評価
- ✓ 市況に左右される資源リスクは限定的、バランスの良い事業ポートフォリオ



IV 補足

豊田通商グループのCSRマテリアリティ(重要課題)と当社関連事業

社会課題の解決をビジネスにつなげていく

交通死傷者ゼロを目指し、安全で快適なモビリティ社会の実現に貢献



トラック
隊列走行実証実験



エアバッグクッション
生産事業

クリーンエネルギーや革新的技術を活用し、自動車/工場・プラントCO₂を削減することで、低炭素社会移行に貢献



風力発電



リチウム資源開発



廃棄物を資源化することで、モノづくりを支え、循環型社会に貢献



廃車リサイクル



アルミ溶湯事業

豊田通商グループの
CSRマテリアリティ



港湾荷役クレーン



テクノパーク事業



● 社会課題の解決と
会社の成長を両立する最重要課題

● 会社の成長を支える土台となる
最重要課題



安全とコンプライアンスの遵守をビジネスの入口とし、社会に信頼される組織であり続ける



人権を尊重し、人を育て、活かし、「社会に貢献する人づくり」に積極的に取り組む

過去10年間の財務サマリー

(単位：億円)

← 日本会計基準 → ← 国際会計基準 →

	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期
売上高/収益※	51,022	57,436	59,167	63,043	77,432	86,634	81,702	57,973	64,910	67,627
当期利益	273	471	662	674	730	675	▲437	1,079	1,302	1,326
総資産	22,745	24,362	28,374	35,923	40,727	45,336	39,521	42,120	43,100	44,414
資本	6,502	6,673	7,517	9,200	11,560	13,044	10,557	12,235	13,621	13,896
ネット有利子負債	5,630	5,813	6,721	9,986	10,889	12,335	11,027	11,019	10,069	9,884
営業CF	1,002	798	637	1,241	1,339	1,691	3,083	1,597	2,150	2,107
ROE	4.9%	8.0%	10.7%	9.6%	8.4%	6.4%	—	10.8%	11.7%	11.2%
ネットDER	0.96倍	0.98倍	1.04倍	1.31倍	1.12倍	1.10倍	1.24倍	1.04倍	0.85倍	0.82倍

※日本会計基準においては売上高、国際会計基準では収益

本部別概要

(単位：億円)

本部	自動車	自動車以外	事業内容	19年3月期 売上総利益
金属			自動車鋼材、金属製品、 非鉄金属、金属資源	998
グローバル部品・ ロジスティクス			自動車構成部品、 物流事業、タイヤ組付け	753
自動車			自動車等（二輪車、トラック、バス含）の 輸出・小売、販売周辺	887
機械・エネルギー・ プラントプロジェクト			車輜生産設備、エネルギー、プラント、 各種機械	898
化学品・ エレクトロニクス			化学品、合成樹脂、 エレクトロニクス	1,075
食料・生活産業			穀物、食品、保険、 アパレル関連、介護・医療用品	439
アフリカ			自動車、ヘルスケア、 消費財・生活産業、テクノロジー&エネルギー	1,371

合計 6,384

2016年3月末以降の当社株価終値推移

2019年8月末時点

- ◆株価終値 : 3,295円
- ◆発行済株数 : 352,100,797株
(自己株式1,955,719を除く)
- ◆PER(株価収益率) : 7.73倍(予想)
- ◆PBR(純資産倍率) : 0.97倍(実績)
- ※日経平均及びJPX日経インデックス400の構成銘柄



当社HP紹介

豊田通商HOME / 投資家情報 / 個人投資家の皆様へ

印刷する

投資家情報

経営メッセージ

個人投資家の皆様へ

- 1. 豊田通商のあゆみ
- 2. 豊田通商のビジネス
- 3. 豊田通商の強み
- 4. 配当方針
- 個人投資家向け説明会

説明会資料

財務・業績ハイライト（連結）

IRニュース

個人投資家の皆様へ

豊田通商の歴史やビジネス、業績など、個人株主・投資家の皆様に豊田通商をより深くご理解いただくためのコンテンツを集めました。ぜひお役立てください。



豊田通商

で

検索

当社個人投資家HPへ是非アクセス下さい！



豊田通商株式会社 財務部 I R室
E-mail: ttc_ir@pp.toyota-tsusho.com
Tel: 03-4306-8201 Fax: 03-4306-8811

- ◆ 当プレゼンテーション資料は、豊田通商株式会社およびそのグループ会社の戦略・経営計画など、歴史的事実でない「将来に関する見通し」を含んでいます。係る将来に関する見通しは、現時点において入手可能な期待・見積り・予想に基づいており、その性質上、これらの期待・見積り・予想はリスクや不確実性を内在しております。従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果、財務内容等は、係る将来に関する見通しにおいて明示的または黙示的に示される情報と大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。当社は、係る将来に関する見通しについて情報を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。
- ◆ 当プレゼンテーション資料は、有価証券の募集・売却、販売、勧誘を目的とするものではありません。投資・その他のご判断にあたり、当資料の内容に全面的に依拠することはお控えくださいますよう、お願い申し上げます。



Be the **Right ONE**

豊田通商 アフリカ戦略

～アフリカでのプレゼンスNo.1企業を目指して～

2019年9月25日
豊田通商株式会社
(証券コード 8015)

中期経営計画達成に向けて

3つの重点分野へ注力

～『当社の強み』×『今後の伸びが予想される領域』～

1. アフリカ



アフリカでのプレゼンス
展開国 : 全54ヶ国
従業員数 : 約15,500人



最後のフロンティア
高い成長ポテンシャルを持つ

2. 次世代自動車



日本最大の
電子デバイス商社グループ



100年に一度と言われる
自動車産業の転換期

3. 再生可能エネルギー



風力発電業界の
リーディングカンパニー



クリーンエネルギー需要
の高まり

目次

I アフリカの現状

II 当社アフリカ事業の歴史と強み

III アフリカでの現在の取り組み

IV 今後の取り組み



I

アフリカの現状



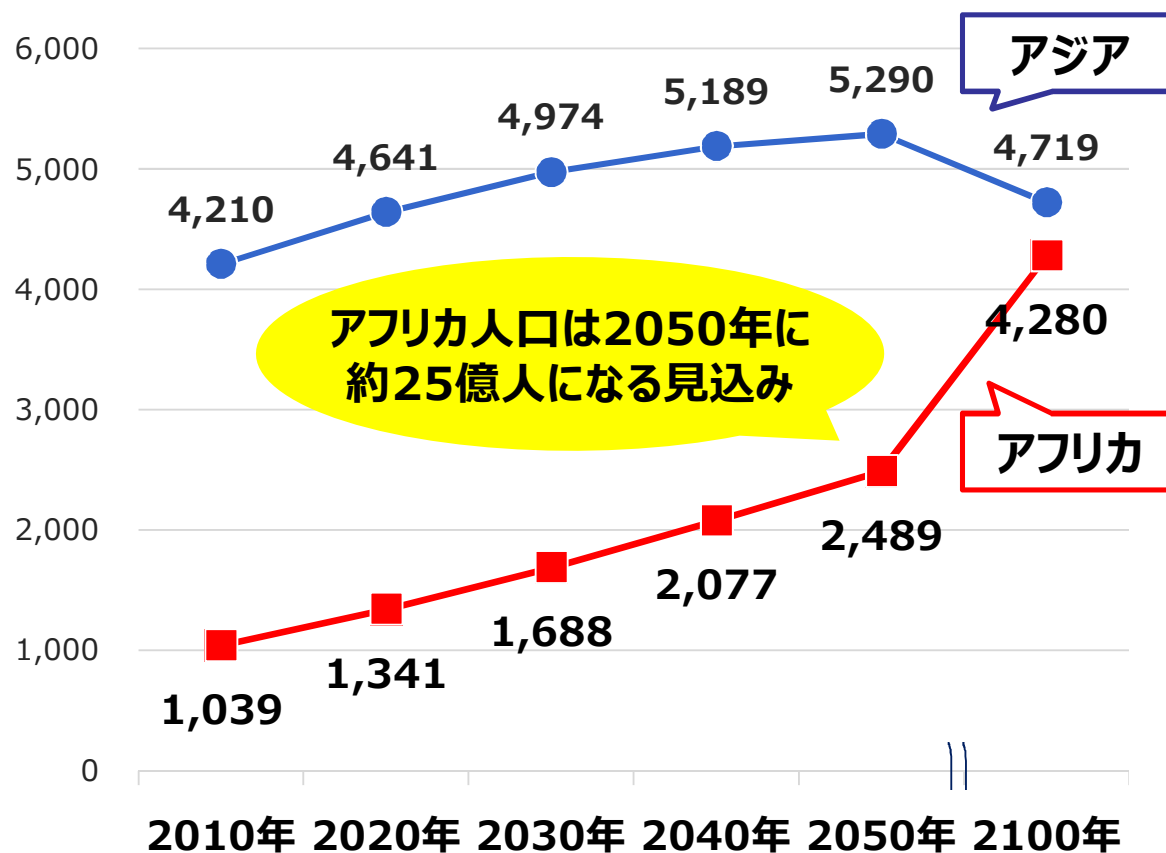
みなさんが想像するアフリカ



高まるアフリカの存在感

アフリカ人口の見通し

(単位：100万人)



(参考)
世界人口

6,957	7,795	8,548	9,199	9,735	10,875
-------	-------	-------	-------	-------	--------



Resource : United Nations "World Population Prospects 2019"

アフリカの現状



解決すべき課題

持続的で健全な成長は、世界全体の持続可能性の確保、安定にとって極めて重要な課題



貧困率（1日1.90ドル以下）
サブサハラ・アフリカ：**40%**
世界：10%



初等教育の非就学児の割合
サブサハラ・アフリカ：
男性**17%** 女性**21%**
世界：男性8% 女性9%



飢餓人口の割合
サブサハラ・アフリカ：**20%**
世界：11%



安全な水へのアクセスできる割合
サブサハラ・アフリカ：**24%**
世界：71%



5歳未満児死亡率
サブサハラ・アフリカ：**7.8%**
世界：4.1%



電力を利用できない人口
アフリカ：**6億4500万人**
世界：12億人

（UNICEF, World Food Programme, 世界銀行, IEA, 国連広報センターの資料をもとに経済同友会事務局作成）

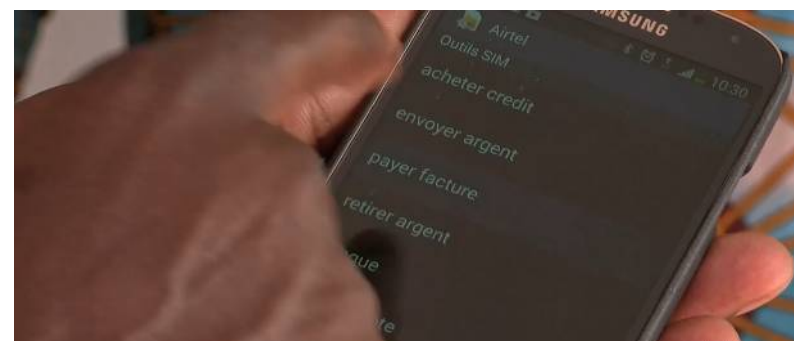
アフリカで起きているリープフロッグ現象※

<例>

★通常のテクノロジーの流れ



★リープフロッグ現象



※リープフロッグ現象

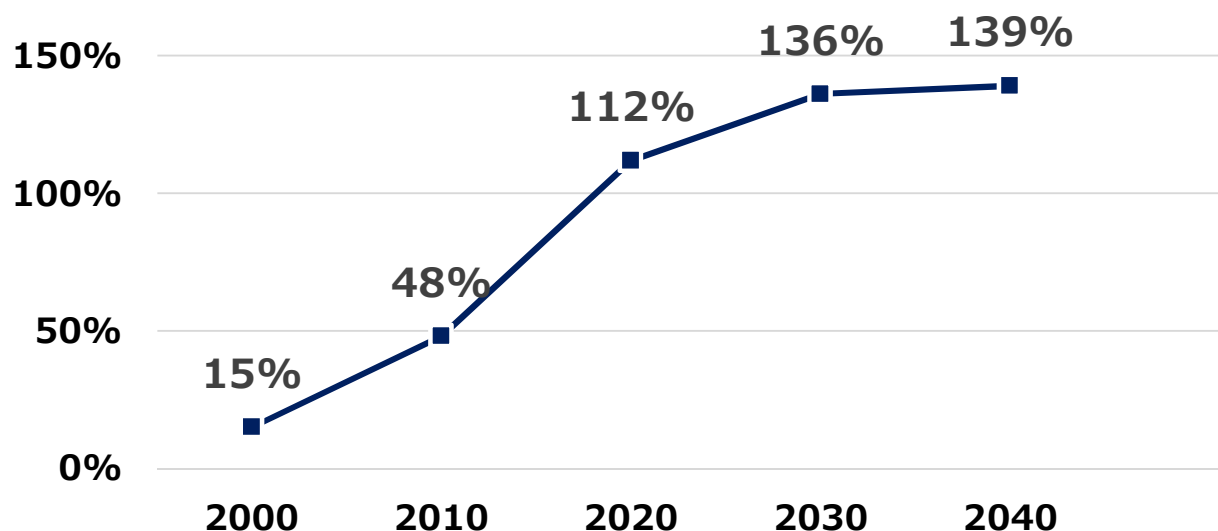
既存の社会インフラが整備されていない新興国において、新しいサービス等が先進国が歩んできた技術進展を飛び越えて一気に広まること

携帯電話での送受金システムを世界で初めて導入したケニア

ケニアでの携帯電話の普及率は100%超

電気や水道といったインフラが整備される前にモバイル決済（M-PESA）が進化

アフリカの携帯電話普及率



出典：アフリカ開発銀行“Africa Years’ Time (2011)”

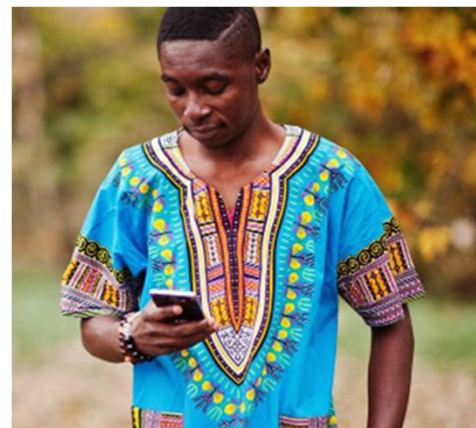


※M-PESA

MはmobileのM、PESAはスワヒリ語でお金の意味。携帯電話で送金から出金・支払までできるモバイルマネーサービスのこと。

豊田通商が担う役割

WITH AFRICA FOR AFRICA



Chris Weller/Business Insider

ビジネスを通して、アフリカの課題解決に取り組む

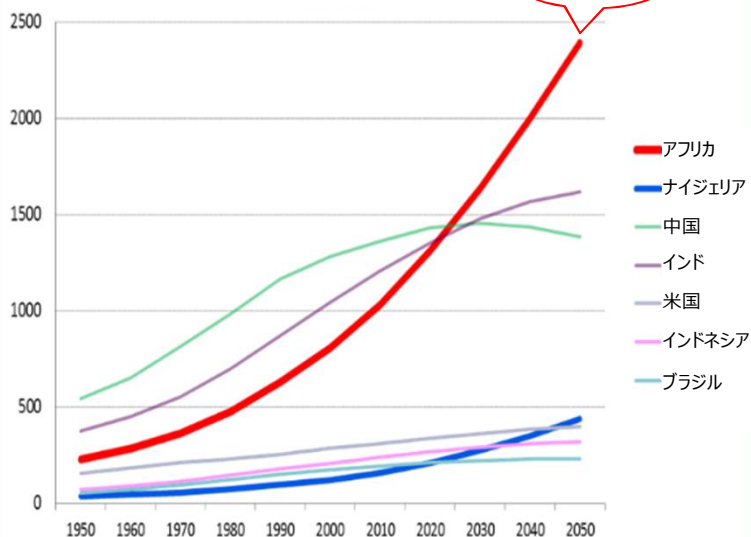
3つの社会課題

①人口の増加

世界人口予測

(単位：百万人)

アフリカ人口



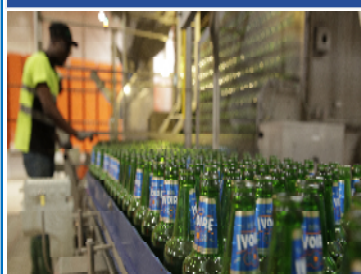
②産業化・雇用の創出



モビリティ
自動車組立



ヘルスケア
医薬品販売



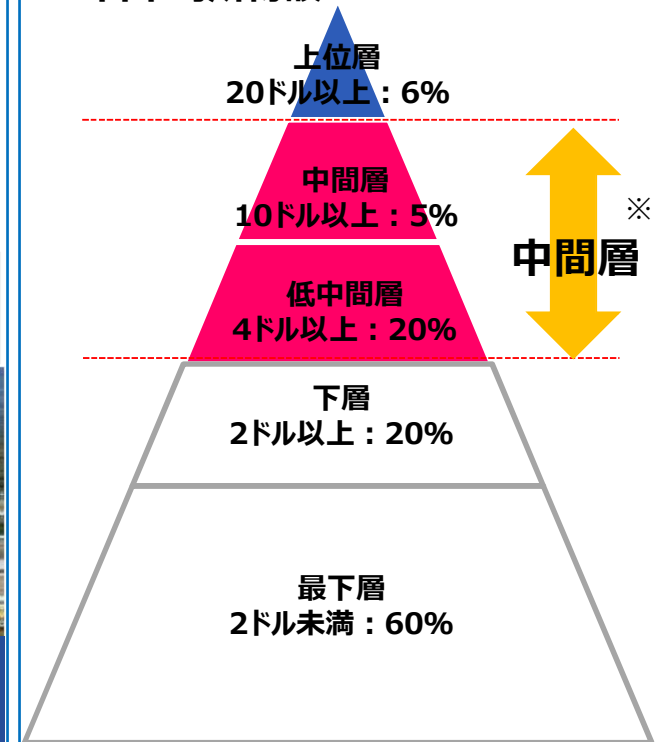
消費財・生活産業
ビール工場



テクノロジー&エネルギー
地熱発電

③中間層の勃興

一日平均所得額



※ アフリカにおける中間層：
1日当たり4～20ドル消費可能な所得層

①人口の増加



**医療、電気、移動手段、教育など
アフリカの人々のBasic Human Needsを満たすビジネスを展開**

医薬品事業



交通移動手段（ミニバス）



小型ソーラー発電



②産業化・雇用の創出

アフリカ各国で製造業・サービス業などを展開することで、産業化・雇用の創出に貢献

車体組立事業



Bic社 ボールペン事業



肥料製造事業



③ 中間層の勃興

自動車販売、近代的なスーパーマーケット、化粧品の製造販売などに進出

自動車販売（ディーラー）事業



ショッピングモール事業



化粧品の製造販売事業



アフリカの人々の「豊かな生活」「充実した人生」に貢献



当社アフリカ事業の紹介映像をご覧ください





Ⅱ

当社のアフリカ事業の歴史と強み

アフリカにおけるビジョン

WITH AFRICA **FOR** AFRICA



VISION

地域ニーズとシーズに答え、アフリカのリーディンググループを目指す



自動車
SBU



ヘルスケア
SBU



消費財・生活産業
SBU



テクノロジー&
エネルギーSBU

①事業創造（4つの事業領域）

②人材育成

③社会貢献（戦略的CSR）

アフリカにおけるプレゼンス

アフリカ全土をカバーする事業ネットワークと豊富な人的資源

展開国：54ヶ国
(36ヶ国に事業拠点)

従業員：約15,500名

グループ企業数：165社

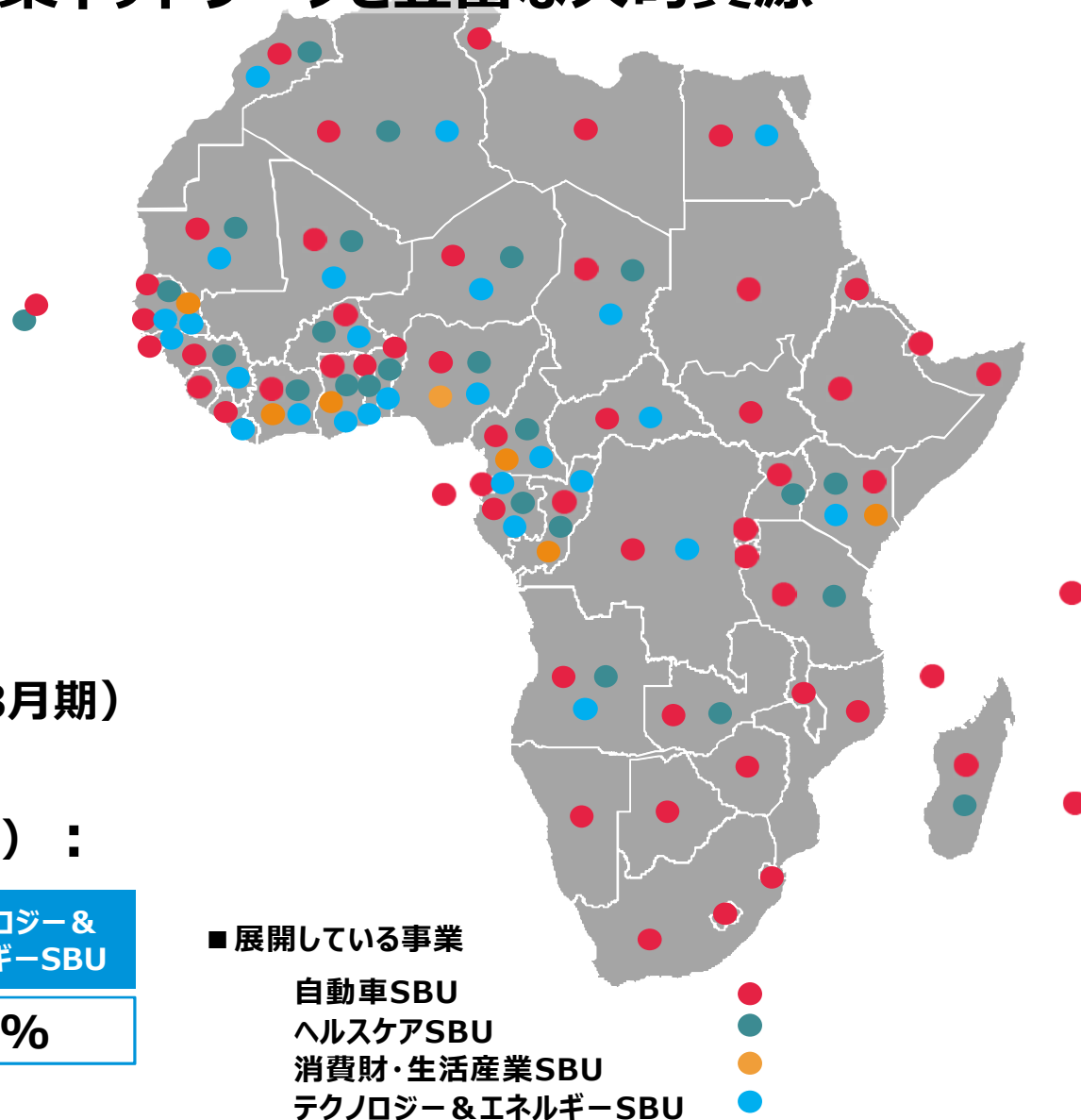
収益：約5,924億円 (2019年3月期)

主要4事業・売上比率 (2019年3月期)：

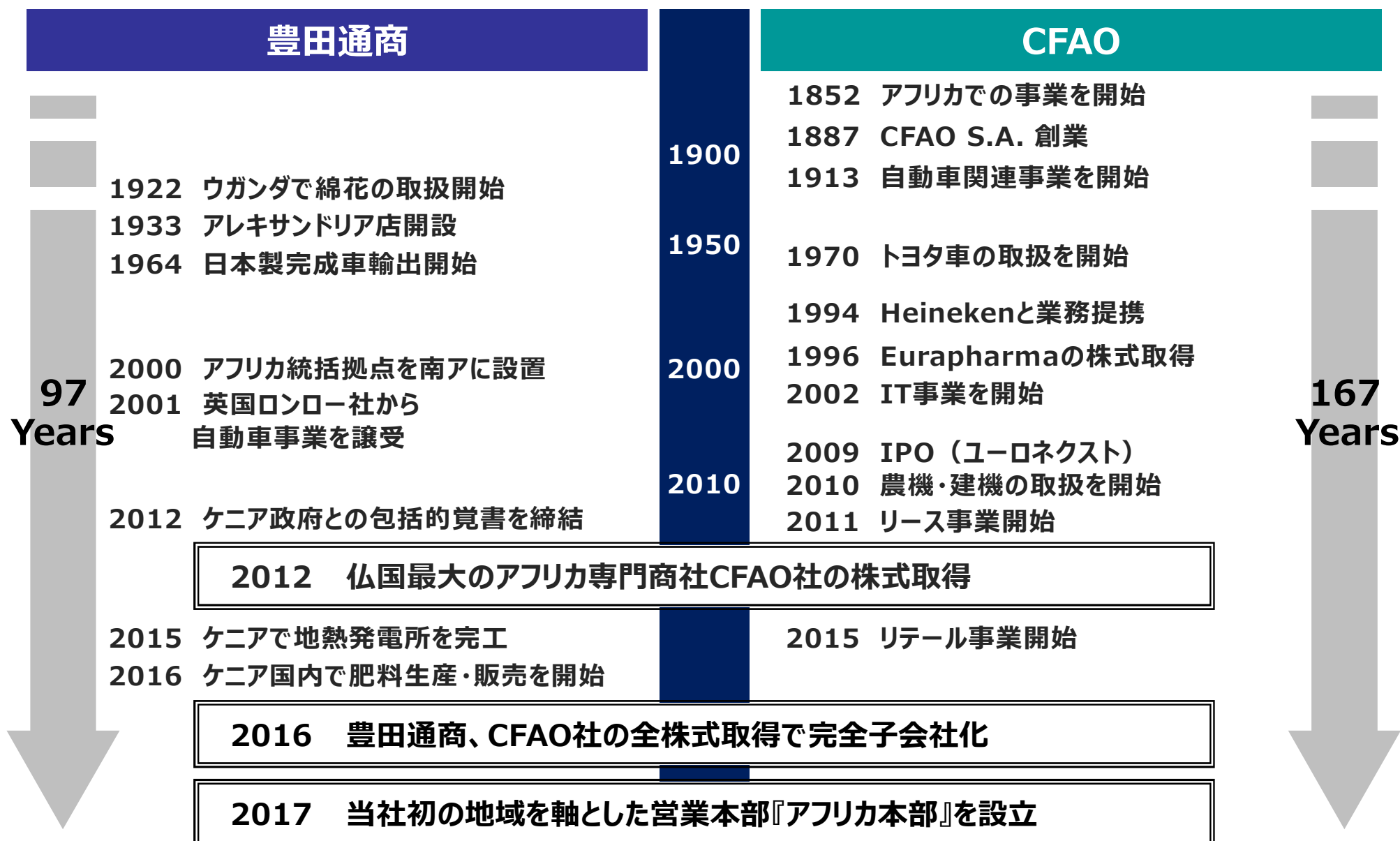
自動車 SBU	ヘルスケア SBU	消費財・生活産業 SBU	テクノロジー＆ エネルギーSBU
60%	32%	6%	2%

■ 展開している事業

自動車SBU
ヘルスケアSBU
消費財・生活産業SBU
テクノロジー＆エネルギーSBU



豊田通商とCFAOのアフリカでの歴史



CFAO概要 (アフリカ地域統括会社)



設立 : 1887年
 事業 : 自動車事業を含む4つの主要事業を展開
 特徴 : アフリカ54ヶ国、仏海外県で事業展開
 従業員 : 約15,500名
 グループ企業 : 165社

自動車 SBU

- ・自動車・建機
輸出入・販売
- ・現地組立・生産支援
メンテナンス他



ヘルスケア SBU

- ・医薬品卸売
- ・ライセンス生産
- ・大手機関向け直販
- ・遠隔診断・医療



消費財・生活産業 SBU

- ・飲料製造・販売
- ・消費財製造・販売
- ・リテール事業
- ・配合肥料製造・販売



テクノロジー & エネルギーSBU

- ・システム構築・統合・
メンテナンス
- ・インフラ開発
(港湾・発電所他)



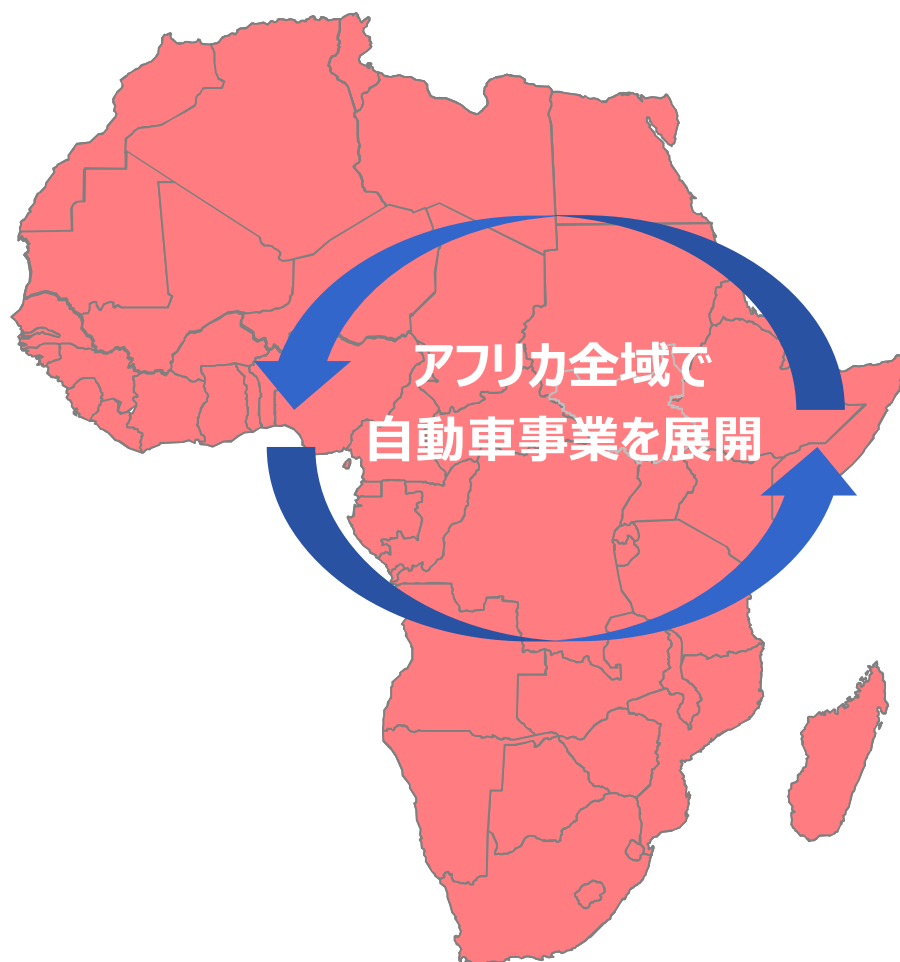


Ⅲ アフリカでの現在の取り組み

自動車SBU - 事業概要

アフリカ全54ヶ国でネットワークを保有し、複数ブランドを展開中

- 2019年 トヨタ自動車のアフリカでの営業業務を豊田通商に全面移管



メンテナンスサービス



代理店・ディーラー運営



部品販売

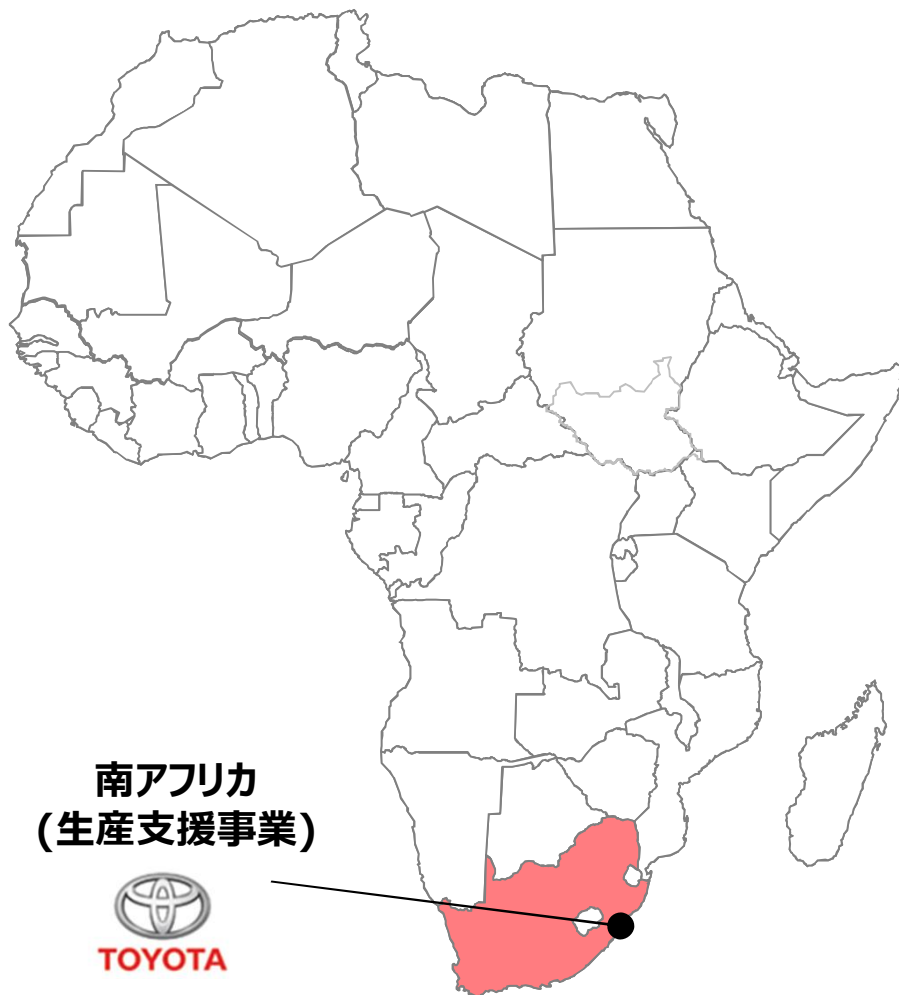
取扱いブランド（例）



自動車SBU - 生産支援

トヨタ・グローバルスタンダードに準拠した生産支援サービスを展開

- 南アフリカのダーバンで自動車生産を支援
- 調達、物流、在庫管理、カンバン納入、スクラップハンドリング、完成車物流等を展開



部品調達



倉庫業務

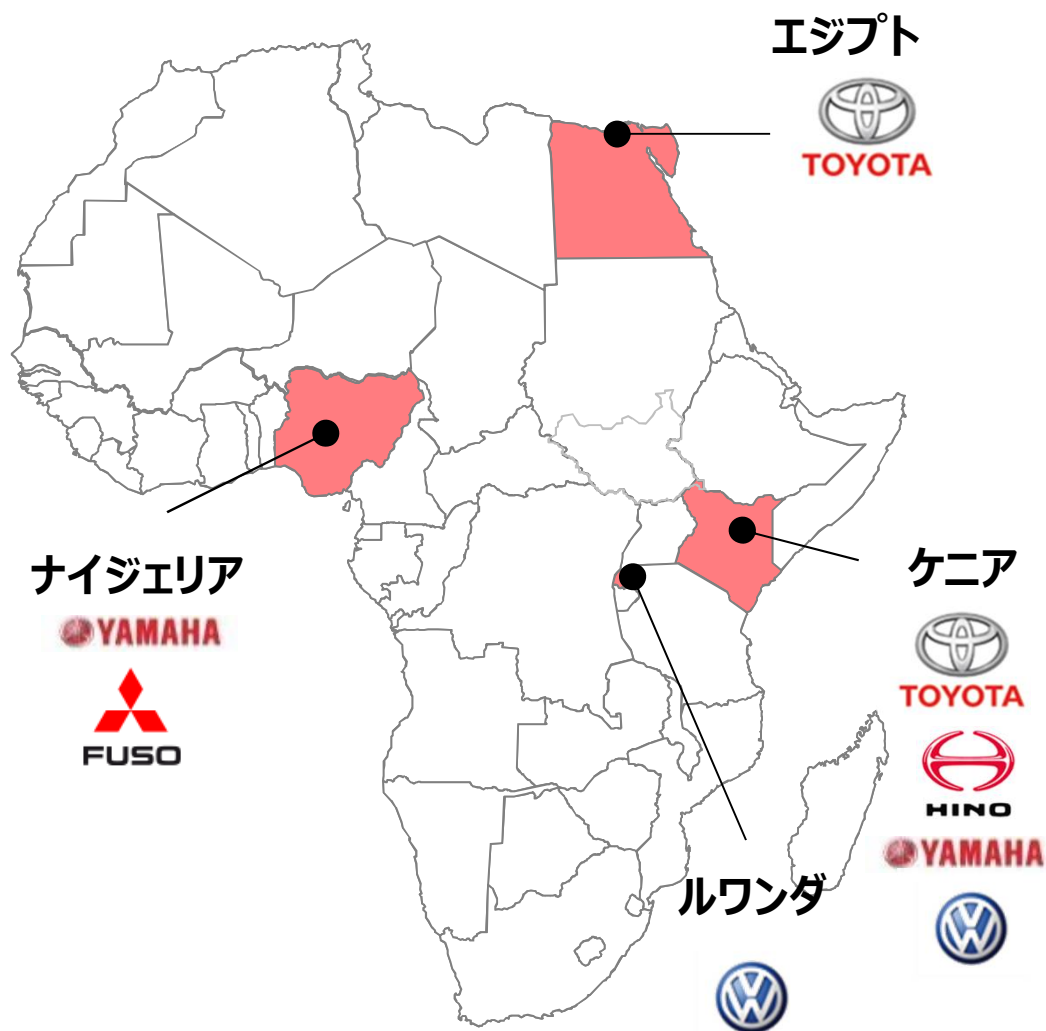


完成車物流

自動車SBU – 現地組立生産

自動車の販売事業のみならず、市場ニーズに合わせて現地生産の推進

- アフリカの4ヶ国で四輪、二輪の組立事業を推進



AVA社でのキャビンの組付け

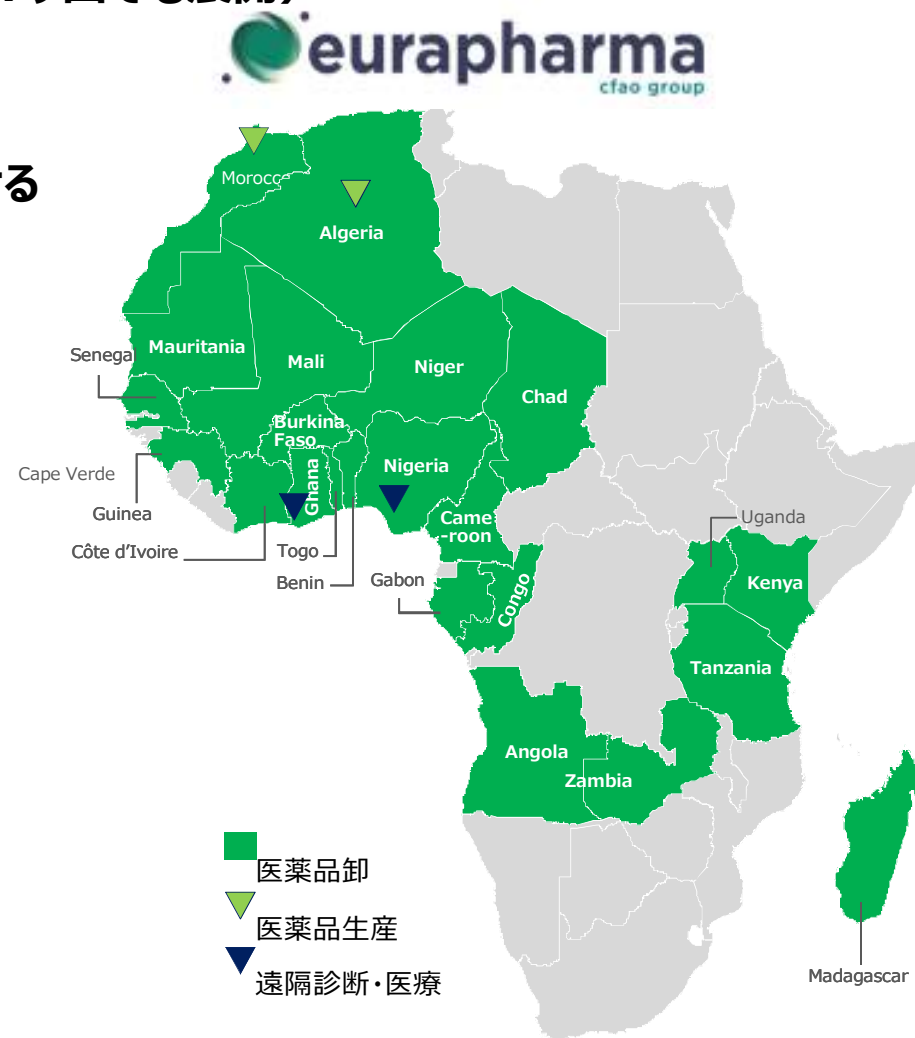


シャシーの組付け

ヘルスケアSBU – 医薬品卸売

仏語圏アフリカ・仏海外県中心に医薬品卸売事業を展開

- アフリカ24ヶ国で医薬品卸事業を展開（仏海外県7ヶ国でも展開）
- 6,000 の薬局・病院に毎日配送
- 27,000の商品を取扱い、取引先450社
- 欧米医薬メーカーの製品のライセンス生産を手掛ける
- 2017年、遠隔診断・医療事業を開始



消費財SBU – ショッピングモール運営

近代的モールを運営。中間層の消費に対応、現地調達と雇用創出に貢献

- 仏系小売り業大手カルフル社と提携しショッピングモール・スーパーを運営
- アフリカ国内で6店舗展開
 - コートジボワール3店舗 -カメルーン1店舗 -セネガル2店舗
- 生鮮食料品を中心に現地調達を推進



消費財SBU – ビール製造・販売

ハイネケンとのパートナーシップを結び、伸長する中間層の需要を取込む

- 2017年よりコートジボワールでハイネケン社のビール製造・販売事業を展開
→毎月13,000ℓ、2,500万本を製造
- コンゴ共和国でも、1994年よりビールの製造・販売事業を展開

コートジボワール工場の様子



工場の外観



生産ライン

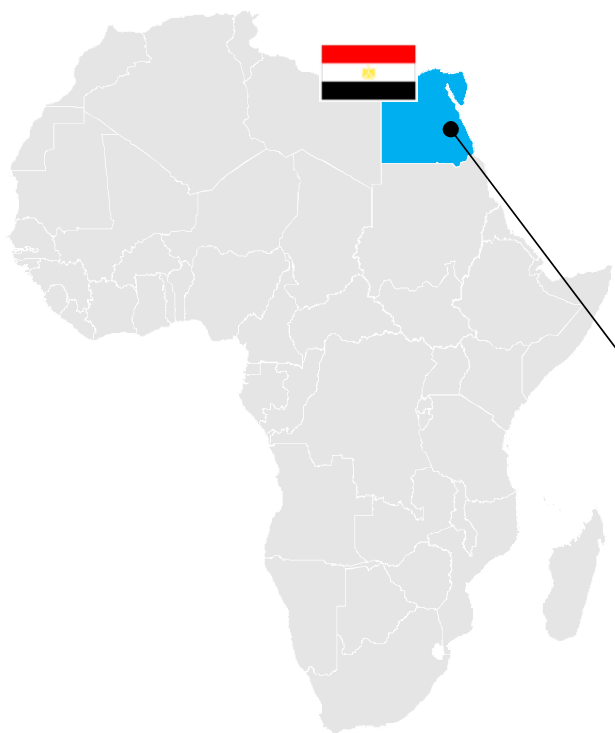


オリジナルブランド
"Ivoire"

テクノロジー&エネルギーSBU - 再生可能エネルギー

風力発電プロジェクトに参画し、環境に配慮した発電事業の推進

- ユーラスエナジー社(*)等と共同でエジプトにおいて風力発電案件（263MW）を受注
- 商業運転開始は2019年末を予定
- 同国において風力発電では初めての電力卸売事業。今後20年間にわたって運営



(*) ユーラスエナジー社
豊田通商 60 : 東京電力 40 の合弁会社
風力発電・太陽光発電等の再生可能エネルギー事業を国内外で展開

テクノロジー&エネルギーSBU - プラント・インフラ開発

急増する電力需要対応、物流のボトルネック解消に貢献

アフリカ最大規模の地熱発電所



オルカリア地熱発電事業（ケニア）

東アフリカ最大の商業港の開発プロジェクトを受注



モンバサ港湾開発事業（ケニア）



IV

今後の取り組み

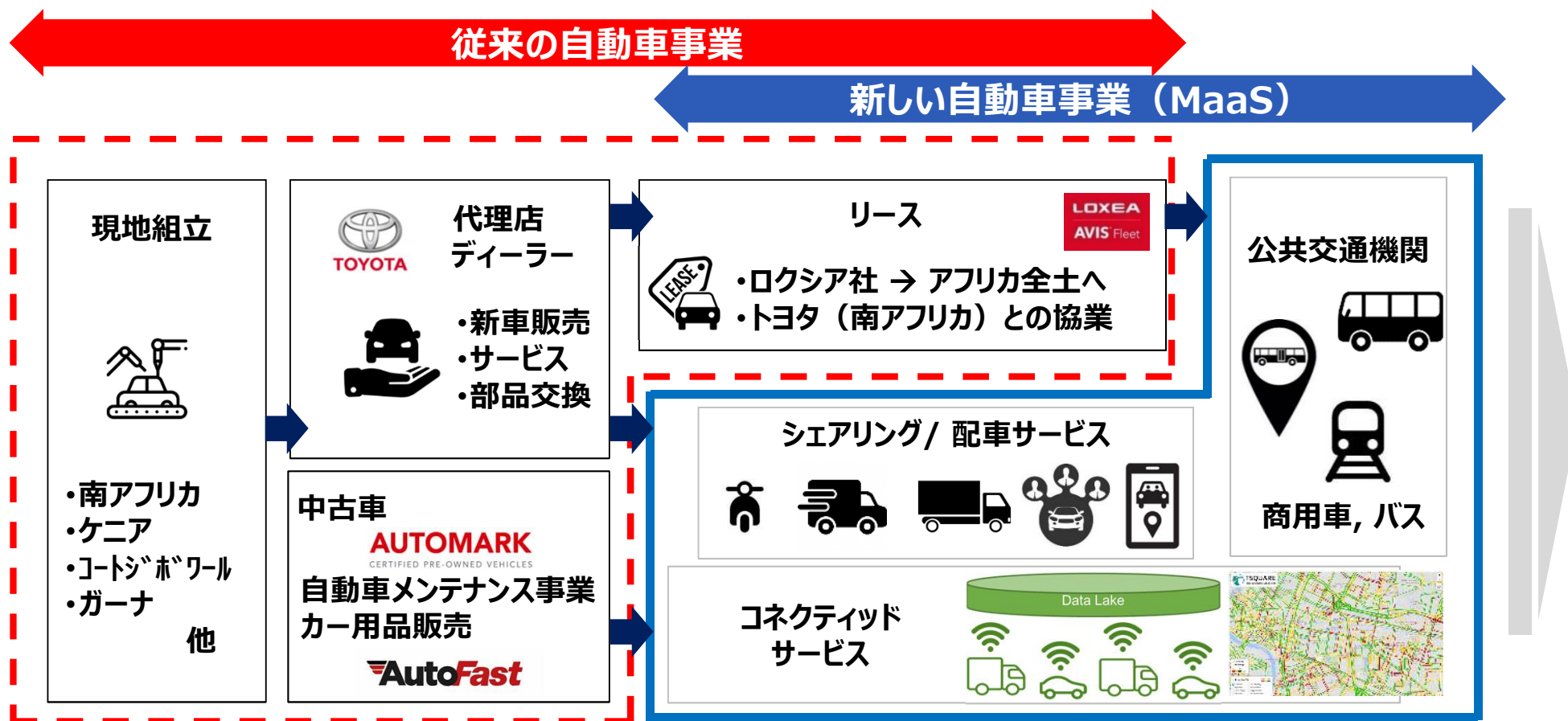


今後の展望



自動車事業における両利き戦略

従来の自動車事業の拡大とともに、新しい事業（MaaS事業）へ積極参入



アフリカ次世代自動車プロジェクトの戦略

自前主義ではなく、オープンな仲間づくりを推進

ステップ1

オープンイノベーション&リーンスタートアップ

革新的な自動車サービスや技術を有する企業への投資/パートナーシップ提携の推進

物流



公共
交通機関



タクシー/配車



コネクティッド



ファイナンス
フィンテック



ステップ2

コネクティング&プラットフォーム

パートナーとシナジーを創造し、次世代自動車プラットフォームの構築を目指す

ステップ3

豊田通商グループによる全ての自動車のプラットフォーム

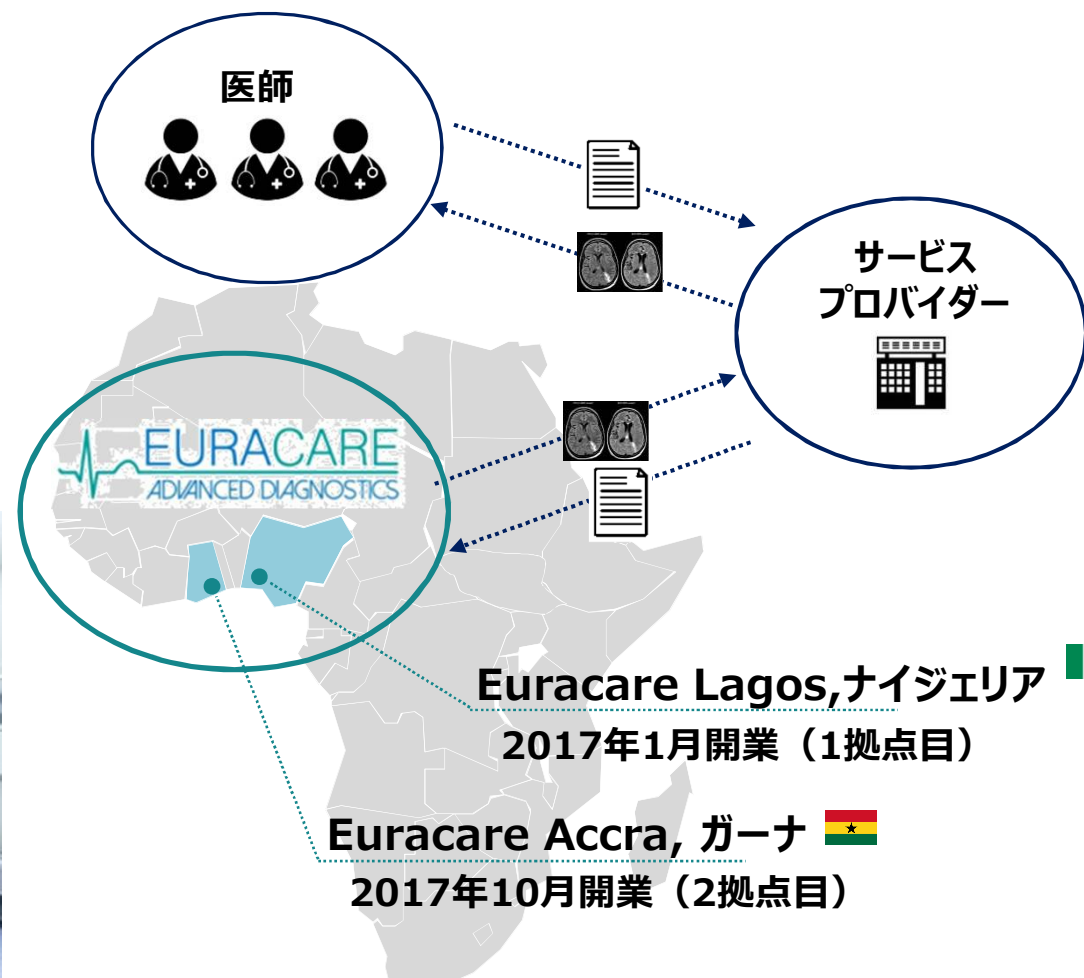
新たな自動車のプラットフォームの開拓

遠隔診断・医療サービス事業

医療インフラが欠如するアフリカに先進医療サービスを提供



遠隔医療設備の手術室



ミニグリッド事業

無電化地域への電力供給を通して、地域社会の発展を支援

- ケニアの無電化地域でミニグリッド事業を展開する米国法人に出資
- 利用者は発電設備などの費用を負担することなく、使用する分の電気代をモバイル決済
- アフリカでのネットワークと知見を生かし、今後同社とケニア国内での事業の拡大、他国展開を図る





豊田通商株式会社 財務部 I R室
E-mail: ttc_ir@pp.toyota-tsusho.com
Tel: 03-4306-8201 Fax: 03-4306-8811

- ◆ 当プレゼンテーション資料は、豊田通商株式会社およびそのグループ会社の戦略・経営計画など、歴史的事実でない「将来に関する見通し」を含んでいます。係る将来に関する見通しは、現時点において入手可能な期待・見積り・予想に基づいており、その性質上、これらの期待・見積り・予想はリスクや不確実性を内在しております。従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果、財務内容等は、係る将来に関する見通しにおいて明示的または黙示的に示される情報と大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。当社は、係る将来に関する見通しについて情報を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。
- ◆ 当プレゼンテーション資料は、有価証券の募集・売却、販売、勧誘を目的とするものではありません。投資・その他のご判断にあたり、当資料の内容に全面的に依拠することはお控えくださいますよう、お願い申し上げます。